

初年次教育における学習について

1. 初年次教育とは

初年次教育とは、高等学校から大学への円滑な移行を図るとともに、在学中の教育効果を高め、大学での学問的・社会的な諸条件を成功させるべく、主として新入生を対象に作られた総合的教育プログラムのことをいいます。1970年代にアメリカで始められ、国際的には「First Year Experience（初年次体験）」と呼ばれています^{注1)}。

2. 初年次教育の具体的内容

初年次教育では、次のようなことを身に付け、高めることが望まれています^{注2)}。

- a レポート・論文の書き方等の文章作法
- b ノートの取り方
- c プレゼンテーションやディスカッション等の口頭発表の技法
- d 学問や大学教育全般に対する動機づけ
- e 論理的思考や問題発見・解決能力
- f 将来の職業生活や進路選択に対する動機づけ・方向づけ
- g 社会の構成員としての自覚・責任感・倫理観
- h メンタルヘルス等、精神的・肉体的健康の保持
- i 学生生活における時間管理や学修習慣
- j 大学内の教育資源（図書館を含む）の活用方法
- k 自大学の歴史等を題材とした、自大学への帰属意識

3. 初年次教育とリエゾンゼミ I

本学のリエゾンゼミ I は、初年次教育に位置づけられており、上記の a～k を学ぶように構成されています。授業以外にも、「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」や「学習のお役立ち情報」などを活用して、a～k について積極的に取り組むことで、大学での基礎的・総合的・専門的学びがより有意義なものになります。

【注】

1) 文部科学省 「用語解説」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1301655.htm

2) 文部科学省 「大学における教育内容等の改革状況について（調査）」

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/005.htm